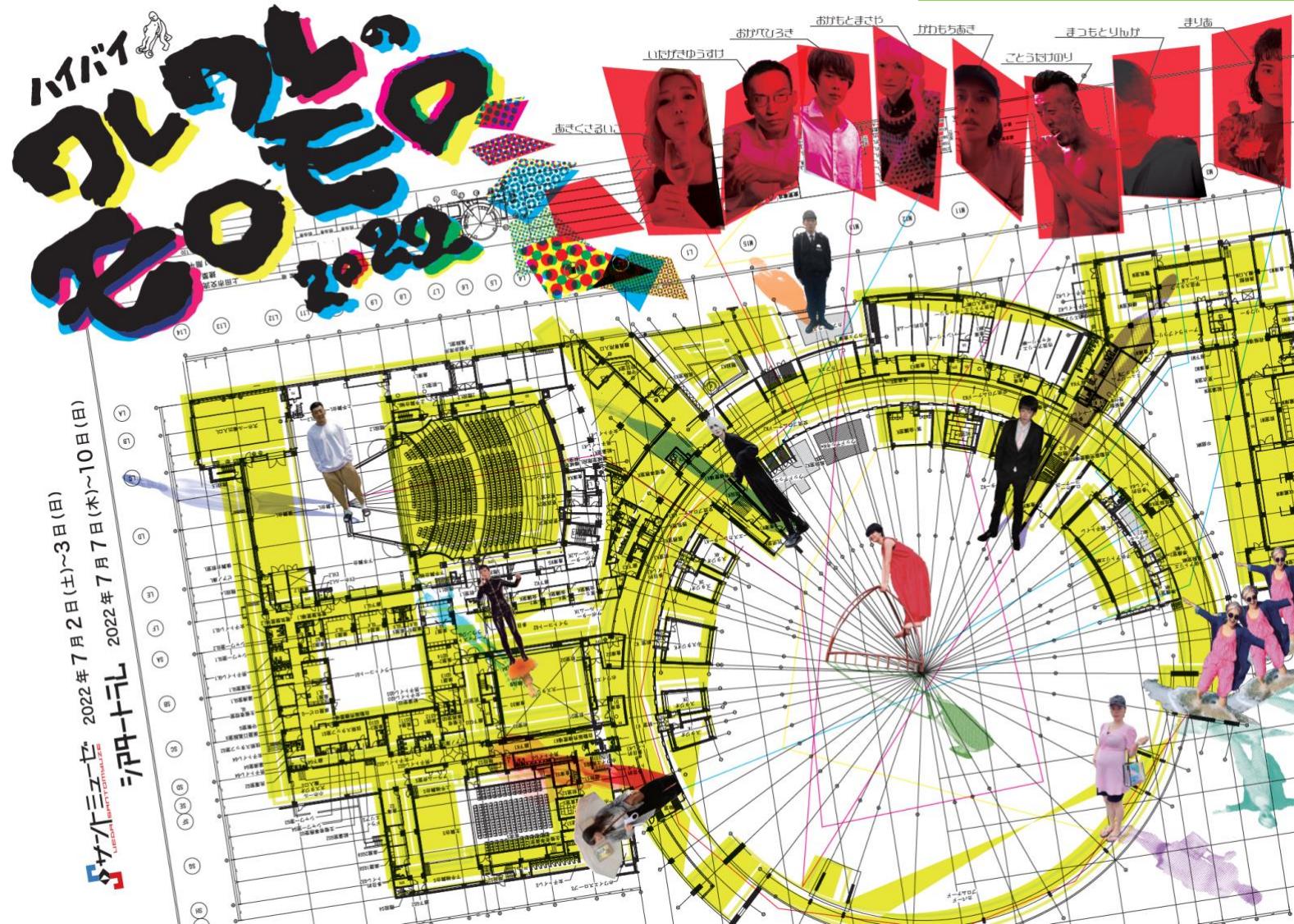


プレスリリース

株式会社 WARE 2022 年 4 月



WARE

ハイバイ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ハイバイは、2022年6-7月「ワレワレのモロモロ2022」を、
長野県・サントミューゼ(上田市交流文化センター)にて滞在制作の後、
東京都・シアタートラムに凱旋上演いたします。

参加者が自分の身に起こった出来事を書き、
それをそのまま演劇化して本人を中心に演じる企画『ワレワレのモロモロ』。
平均年齢78歳の出演者たちと作り上げた”彩の国さいたまゴールドシアター編”、
岩井がフランスに渡り制作した”ジュヌビリエ編”など、世代や国境を超えて上演を重ねてきた本企画。
ハイバイとしては2016年の東京編ぶり、6年ぶりの「ワレモロ」新作公演となります。
ハイバイ劇団員や、岩井が主宰する寄り合いの「作家部」などから、それぞれ自慢の「ひつで一話」を持ちこみます。

ハイバイおよび岩井秀人の活動を、ぜひ取材などお取り上げくださいますよう、何卒よろしくお願ひいたします。

構成・演出・脚色 岩井秀人

出演 秋草瑠衣子、板垣雄亮、岡部ひろき、岡本昌也、
川面千晶、後藤剛範、松本梨花、まりあ（五十音順）

上演予定作品 秋草瑠衣子：『新宿マスカレードカフェ』

岡部ひろき：『自己紹介岡部』

岡本昌也：『目を合わせるのは優しい頃を踊りたいだけだよ』

川面千晶：『川面の出産』

まりあ：『デート注意報』

※東京公演のみ武田立：『ザ・シャワー』（出演：武田立）も特別上演



©平岩享

ハイバイ主宰・岩井秀人コメント

今回の『ワレワレのモロモロ』も、だいぶカラフルな作品が集まりました。

ワレモロ常連となった、「ハイバイに出演しないハイバイ劇団員・川面」の出産記念作品をはじめ、岩井には絶対に描けない、若き女子の恋心(非常に危険な男子登場)や、サラブレッドな俳優の卵の、その奇妙な心象風景や、新宿二丁目のみんなが気になっていたあの辺りに元・宝〇歌劇団男役が飛び込んで行ったストーリーなどございます。いずれ劣らぬピカピカの新作実話です。

だいぶ景気の悪い世の中でございますが、我々まで景気が悪くなっても仕方がない。そんな「景気の悪さ」を上回る「調子の良さ」と、助っ人兄さん俳優たちの力を借りて「やけに明るい実力派集団」となった「ワレワレのモロモロ」、並んだ悲劇をエヘエヘやり過ごそうと思います。お楽しみください！

上田公演 全3回 サントミューゼ レジデント・アーティスト事業

日程	2022年7月2日(土)14:00 7月3日(日)13:00・17:00
会場	サントミューゼ(上田市交流文化芸術センター)大スタジオ
チケット料金(税込)	全席自由席 一般:一般 3,000円 U-25:1,500円*
チケット発売日	2022年4月29日(金祝)10:00~
チケット取扱い	サントミューゼ https://www.santomyuze.com/theater-hall/ticket/ ローソンチケット https://l-tike.com/hi-bye
主催	上田市(上田市交流文化芸術センター)・上田市教育委員会
協力	株式会社 WARE
問い合わせ	サントミューゼ(上田市交流文化芸術センター) TEL:0268-27-2000(休館日を除く9:00~19:00) ※休館日:火曜日(祝日の場合は翌平日) https://www.santomyuze.com/



WARE

ハイバイ

東京公演 全5回

日程	2022年7月7日(木)19:00 7月8日(金)19:00 7月9日(土)14:00★・19:00★ (★…映像収録あり) 7月10日(日)14:00
会場	シアタートラム(東京都・三軒茶屋)
チケット料金(税込)	全席指定席[前売券] 一般:4,500円 学生:3,000円(当日要学生証提示) せたがやアーツカード:4,400円 世田谷パブリックシアター友の会:4,200円
チケット取扱い	ローソンチケット https://l-tike.com/hi-bye 世田谷パブリックシアターチケットセンター(10:00~19:00)03-5432-1515
チケット発売日	世田谷パブリックシアターオンラインチケット(24時間受付・要事前登録) https://setagaya-pt.jp/ 一般発売:2022年4月29日(金祝)10:00~ 世田谷パブリックシアター友の会:2022年4月27日(水)10:00~ せたがやアーツカード:2022年4月28日(木)10:00~
協力	上田市交流芸術文化センター
提携	公益財団法人せたがや文化財団 世田谷パブリックシアター
後援	世田谷区
主催	株式会社 WARE、ハイバイ
問い合わせ	hibye.seisaku@gmail.com

【スタッフ】

舞台美術:佐々木文美(快快/FAIFAI)

衣裳:藤谷香子(快快/FAIFAI)

舞台監督:谷澤拓巳、成瀬正子

音響:中村嘉宏

照明:中西美樹

大道具製作:鈴木太朗

記録写真:坂本彩美(東京公演)

映像収録:安達亨介(東京公演)

宣伝美術:土谷朋子(citron works)

WEB:斎藤拓

演出助手:松本梨花

票券:藤野沙耶(東京公演)

制作:後藤かおり、新開麻子

協力:安住の地、エフ・エム・ジー、J.CLIP、地球儀、nabura、BIRD LABEL、至福団、シバイエンジン



WARE

ハイハイ



【ハイバイとは】

2003年に主宰の岩井秀人を中心に結成。

そもそも気まずいシチュエーションに、なんとも要領の悪い人や空回りするくらいの自意識を振りまく人、どこか世の流れに上手く乗っていけない感じの人たちが現れて、あたふたしているうちに目も当てられない状況になっていくのを笑っていると、まんまと人生の深淵を覗かされてしまうのがハイバイ。

相次いで向田邦子賞と 岸田國士戯曲賞を受けた岩井が描く、ありえそうだがありえないそんな世界を、「ありそうだぞ、いやこれが世界そのものだ!!」って思わせちゃうのもハイバイ。



©平岩享

【岩井秀人 プロフィール】

2003年ハイバイ結成。2012年NHK BSドラマ「生むと生まれるそれからのこと」で第30回向田邦子賞、2013年舞台「ある女」で第57回岸田國士戯曲賞受賞。近年は、パルコ・プロデュース「世界は一人」の作・演出、フランスジヌビリエ国立劇場「ワレワレのモロモロ ジュヌビリエ編」構成・演出を務める。俳優としては舞台「キレイ～神様と待ち合わせした女～」NHK大河ドラマ「いだてん～東京オリンピック噺～」など。2020年以降、「いきなり本読み！」などプロデュース企画も積極的に行う。

問い合わせ先

ハイバイ制作部 後藤・新開

hibye.seisaku@gmail.com